

# SSSV活動報告

## インドネシア ガジャマダ大学 12/3～12/13

工学部 電気電子工学科 和田研究室

### インドネシア共和国



- ・首都：ジャカルタ (Jakarta)
- ・面積：191万9449 km<sup>2</sup>
- ・人口：2億5500万人 (2015)
- ・公用語：インドネシア語
- ・通貨単位：ルピア (IDR)

5110 kmと東西に非常に長く、赤道をまたがる約1万7500もの大小の島により構成されている。赤道直下の熱帯性気候のため、1年を通して気温が高く、乾季と雨季に分かれている。また、世界最大のイスラム人口国である。

### 派遣先大学

ガジャ・マダ大学 (Gadjah Mada University)

- ・ 1949年設立のインドネシアで最も歴史のある国立大学
- ・ ジョグジャカルタ (Yogyakarta) 市内に本部を持ち、大学敷地内面積約145万m<sup>2</sup>という広大なキャンパスを持つ
- ・ 18学部、69学科を持つ総合大学
- ・ 学生数5万人以上、教員数約2500人、職員数2250人を有す



### 研究発表 (ワークショップ)

研究発表では、静岡大学から7名、ガジャマダ大学から4名の学生が互いの研究内容についての発表を行った。



研究内容に関する発表の後、発表に対する質疑応答の時間を取り、各々の研究に対する議論を交えた。

ワークショップの全てのプログラムが終了した後、派遣先大学の担当教授である Wayan 教授からワークショップの修了証書をいただいた。その後、ワークショップの発表者、観覧者を含めた全員での記念写真を撮影した。



### 文化交流



(左上) インドネシアの世界遺産であるボロブドゥール遺跡  
(左下) ジョグジャカルタ最大の観光地区マリオボロ通り  
(右上) インドネシア各島の文化を体験できるテーマパーク、タマン ヌサ  
(右下) 毎週日曜日の午前開催されるサンデー・マーケット

などの様々な場所へと現地の学生の方にご案内していただいた。

### インドネシアの食事



インドネシアの食事の特徴として、辛いものと甘いものが多く、ほとんどの料理に唐辛子が添えられていた。また、イスラム教徒が多いため、豚を使用した料理はほとんどなく肉としては一般的に鶏肉が使用されていた。

### まとめ

本プログラムを通じて、英語での交流や研究発表といった貴重な経験をする事ができた。また、日本とは異なる海外の文化に触れることで、他国の文化への興味が強まった。